

令和2年12月17日  
(一社)兵庫県警備業協会

## 令和2年度 第3回理事（監事含む）会 次第

### 第1 開 会

### 第2 会長あいさつ

全警協の基本問題諮問委員会での議論が進んでおり、来春には一定の結論が出る見込みである。また、東京オリンピック・パラリンピックは実施される方針が決定しており、全警協を通じて参加を呼びかけている現状を説明した。

### 第3 議事録署名人の指名

監事1名を議事録署名人に指名した。

### 第4 審議事項

#### 1 入会審査（5社）

「セルテック(株)」「(株)キズナセキュリティ」「(株)シンコーハイウェイサービス西宮営業所」「(株)R」「(株)K I Cセキュリティ」5社の入会が承認された。

#### 2 特別講習講師の育成について

「講師謝金の見直し」及び「兵庫県独自での講師研修会の開催」について審議され、講師謝金の引き上げ及び年間2回程度の講師研修会開催が承認された。

### 第5 報告事項

#### 1 災害支援協定の見直し経過について

平成28年に兵庫県と締結した「災害時における交通誘導業務の協定」について、年数経過と過去の出動結果から内容を見直す必要性が出ており、災害対策委員会等を開催して覚書(案)を作成した上、県に検討を依頼しており、年度内に回答がある予定である旨説明した。

#### 2 令和2年 入・退会及び会員の状況について

12月1日現在、会員数は344社であり、前年同期比で1社増加していることを説明した。

#### 3 「警備の日」の活動について

11月1日及びその前後に、青色防犯パトロール実施社の協力を得て、「11月1日警備の日」と記載されたマグネットを貼付して実施した防犯パトロール、全警協の補助金を活用してミニハンカチを制作したことを紹介した。

#### 4 当面の行事予定について

来年1月8日、生田神社で特別講習安全・合格祈願を実施する予定等を報告した。

#### 5 創立50周年記念式典について

2年後に開催される協会50周年記念式典の概要について、実行委員会の設置と任務等について説明を行った。

#### 6 その他

##### ア 全警協 基本問題諮問委員会のweb会議結果について

全警協委員で当協会役員が、全警協のweb会議の結果について、外国人雇用については、特定技能14業種の見直しに当たり警備業も参画できないかを検討している旨、ICTテクノロジーの活用については、全警協と各都道府県協会及び県協会と会員とのやり取りをFAX、郵便を廃止してメール等でのやり取りを検討している旨、成長戦略に資する警備業法の見直しについては、業法19条の前後書面の一本化を検討してい

ること、他府県に営業所を設置する場合の5人以上、30日以上 の縛りについての人数の緩和の検討や、検定合格証明書を複数枚持っている場合の1枚への集約化を検討している旨、経営基盤の強化、単価の引き上げ策については、経営基盤を強化するためにはお金を稼ぐというだけでなく、経営者のコンプライアンスの強化が必要で、会員の義務として、協会に会費を納めるだけでなく、例えば経営者研修会等のセミナーへの参加を必須とすることの検討、災害時における警備業の役割の明確化については、各県が締結している県警本部との災害協定の見直しや県知事との協定を検討する意見が出されている旨を説明した。

イ 役員からの提案について

コロナ感染が増加している中で、協会で「不要不急の外出を控えよう」「マスクは公衆のエチケット」と記載された車両貼付用のマグネット式のステッカーを作成し、希望する会員に販売して出た収益を医療機関等に寄付すれば、従業員等の意識高揚と警備業のPRにつながる上、社会貢献活動にもなるので検討願いたい旨の提案がなされ、理事等からコロナ発生から時期的に難しい面があるが、実施するのであれば行政機関と連携して実施する必要がある、今後の検討事項とすることとなった。

第6 閉会（副会長）

今年はコロナの影響で経営においても多大な影響を受けられた1年であり、まだ来年も影響が続くと予想されるが、皆様方におかれましては健康で年末年始を迎えていただくようお願いしたい旨の挨拶があった。